



## しょうわくせい 小惑星エコアダチ発見30周年！

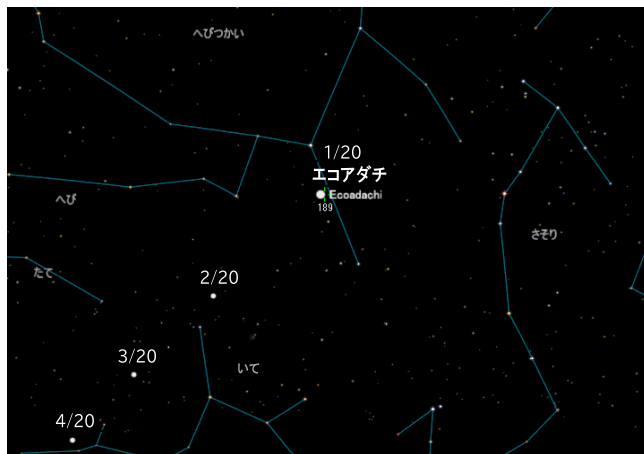
エコアダチ (Eoadachi) という名前の天体があるのを知っていますか。

2008年6月「足立区<sup>かんきょう</sup>環境フェア」が、当時は「こども科学館」だったギャラクシティプラネタリウム (現在のまるちたいけんドーム) で開催<sup>げんざい</sup>されました。それを記念<sup>きねん</sup>して小惑星に「エコアダチ」と命名することになりました。足立区で

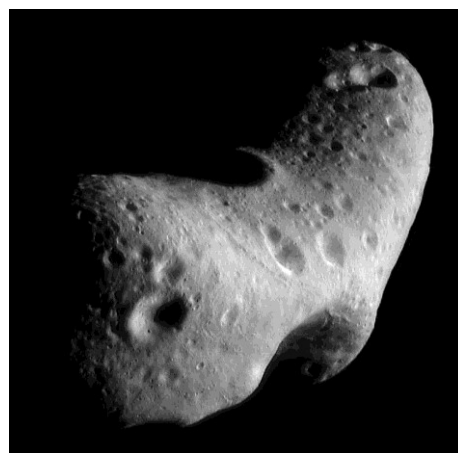
のエコ活動のキーワードです。そして、その年の8月12日、国際<sup>こくさい</sup>天文学連合から命名されたことが小惑星<sup>かいほう</sup>回報で世界に公表されました。

この小惑星は、1994年11月26日に北海道の円<sup>えん</sup>館<sup>だてきん</sup>さんと渡辺<sup>わたなべ</sup>和郎<sup>かずろう</sup>さんが発見<sup>いぜん</sup>しました。それ以前にも観測<sup>かんそく</sup>されたことはありましたが、1994年の円館さんと渡辺さんの観測によって軌道<sup>きどう</sup>が確定<sup>かくてい</sup>され、小惑星12391として正式<sup>せいしき</sup>に登録<sup>とうろく</sup>されました。それから30年<sup>す</sup>が過ぎたのです。

小惑星 Eoadachi は、火星と木星の軌道の間を、約4年半の周期で太陽の周り<sup>まわ</sup>を回っています。大きさは、直径<sup>ちようけい</sup>8キロメートル、37時間で1自転します。現在、地球からは「へびつかい座」に見えており、2月には「いて座」へと移<sup>うつ</sup>り変わります。地球から見る明るさは16-19等級<sup>にくがん</sup>で、肉眼で見ることはできないほど暗いですが、足立区の名<sup>かん</sup>を冠<sup>うちゅう</sup>した天体が宇宙にあると思うと何だか楽しくなってきますね。



エコアダチの位置(1月20日現在)  
(StellaNavigator/アストロアーツで作成)



小惑星 EROS の写真 (NASA)  
エコアダチもこのような感じではないかと想像<sup>そうそう</sup>されます。

2025年1月18日記 (解説員: 田部一志)